

令和6年度 児童アンケート【集計】

項目	割合	項目	割合	項目	割合	項目	割合
① よいところをたしあわせ、いいところは相手を助けてあげる。	8 1 33 58	⑥ 学習用具は、自分で整理して使う。	12 4 46 38	⑪ ゲームや動画の時間を減らす。	7 39 15 39	⑯ 先生は、仲のよい先生にしたい。	2 1 18 79
② わたしは、授業がわかる。	5 1 35 59	⑦ わたしは、学校で質問ができる。	18 5 40 37	⑫ わたしは、学校で友達と遊ぶのが楽しい。	5 2 60 33	⑰ 先生は、授業がわかる先生にしたい。	4 1 23 72
③ わたしは、健康でいられる。	4 20 39 37	⑧ わたしは、友達と話すのが楽しい。	10 2 53 35	⑬ わたしは、学校の行事に参加したい。	9 5 53 33	<p>単位＝%</p>	
④ わたしは、学校や学年の友達がいられる。	10 2 0 88	⑨ わたしは、読書や漢字の勉強が好き。	3 1 24 72	⑭ わたしは、PTA行事に参加したい。	9 14 43 34		
⑤ わたしは、家で勉強する。	11 3 43 43	⑩ わたしは、毎朝食事を食べる。	4 2 14 80	⑮ わたしは、学校へ行くのが楽しい。	9 5 42 44		

【昨年度との比較】

◎肯定的な回答の割合が3ポイント以上増加した項目

③マラソン(12ポイント増) ⑫お知らせをうちのの人へ(4ポイント増) ⑮学校への期待(3ポイント増)

◎肯定的な回答の割合が3ポイント以上減少した項目

⑪ゲームや動画の時間を減らす(3ポイント減) ※昨年度の項目に「動画」を追加

【改善策】※「やや当てはまらない」「当てはまらない」の割合の合計が15%以上の項目について

③ マラソン

昨年度と比べ、肯定的な回答が12ポイント増え、改善されてきています。体育委員会の企画等で児童のマラソンに対する意識向上を図ったのに加え、学級での粘り強い指導により、一生懸命取り組む児童が増えました。春と秋のマラソン記録会で記録をとり、記録の向上を目指すことができたのも良かったです。しかしながら、全国的な傾向と同じく、進んで運動する児童としない児童の二極化傾向がありますので、進んで運動しない児童に意欲をもたせられるよう、教科体育を中心に働きかけていきます。

⑥ 学習用具の整頓

昨年度と似た傾向にあるものの「よく当てはまる」が4ポイント減って46%になり、半数を下回りました。家庭と連携して学習用具の整頓の習慣化を図るとともに、学校で整理整頓に関する指導を継続的に行うことにより、児童の整理整頓に対する意識の向上を図ります。

⑦ 質問

昨年度と同様の傾向でした。わからないところをそのままにしていれば学力向上は望めません。児童の主体的、対話的で深い学びを実現するため、本校の校内研究の研究主題「交流を通して、考えを広めたり深めたりする子の育成」の実現を目指し授業づくりに取り組みます。また、家庭学習習慣を確立させ、児童の主体性を育てていくことで、わからないことを意欲的に質問できる児童に育てていきます。

⑪ ゲーム等

昨年度と比べ、「よく当てはまる」が7ポイント減り、課題となっています。これまでも長時間のゲームや動画視聴による影響について様々な場面・方法で指導してきましたが、改善傾向が見られませんでした。頭では分かっている、やめられない児童が多いようです。毎月0のつく日(10・20・30日)の「ノーゲーム・ノー動画デー」を中心に家庭にも強く協力を求め、連携しながら改善に取り組んでいきます。

⑭ PTA行事

昨年度と同様の傾向でした。PTAの専門委員会、学年委員会とも活発に活動しています。興味をもってもらえるよう、活動について積極的に学校だよりやブログ等で発信して、より参加者が増えるようにしていきます。